

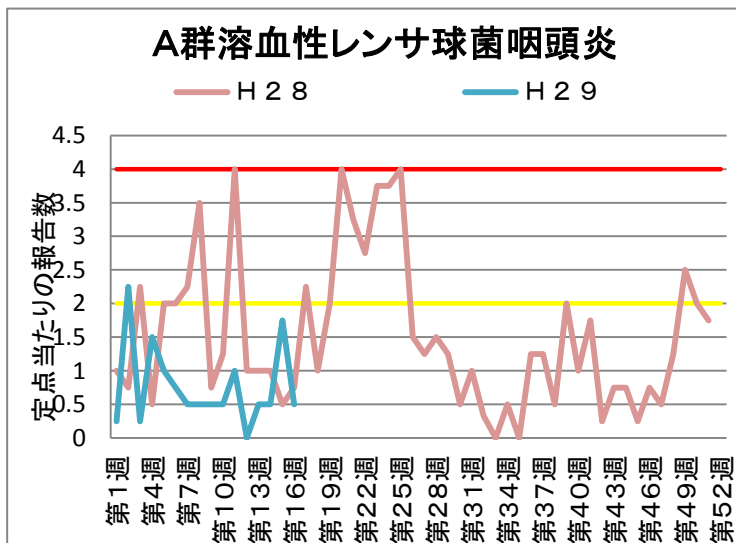
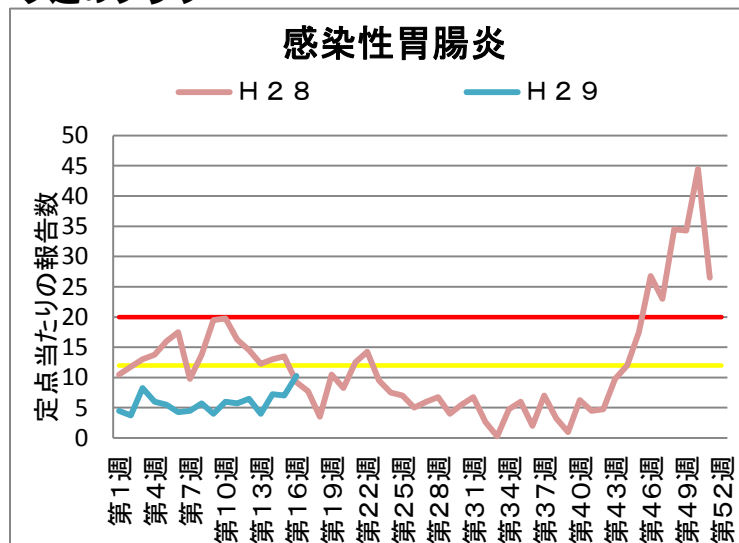
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 16 週 平成29年4月17日 ～ 平成29年4月23日

今週のコメント

- 感染性胃腸炎の報告が、やや増加し、定点あたり10.25となっています。
- ゴールデンウィークに海外へ行かれる方は、「ゴールデンウィークの海外旅行では感染症に注意しましょう」(厚生労働省)をご一読ください。 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000159599.html>
- 東南アジアなどの複数の国では、麻しんが流行しており、海外渡航歴のある人の発症と感染拡大が国内各地でおきています(2017年第1～14週に診断された麻しん患者さん:114人。前年同時期は6人)。麻しんは高熱、全身の発疹、カタル症状を特徴とし、空気感染を主たる感染経路とする感染力の非常に強いウイルス感染症で、年齢にかかわらず命に関わる重篤な疾患ですが、事前に予防接種を受けることで予防が可能です。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	1.86	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	10.25	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.75	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

参考資料等

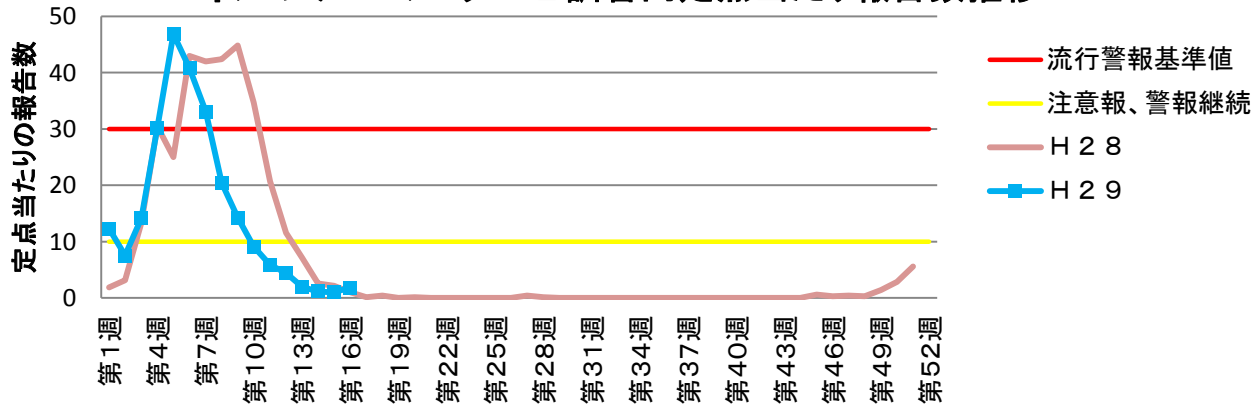
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

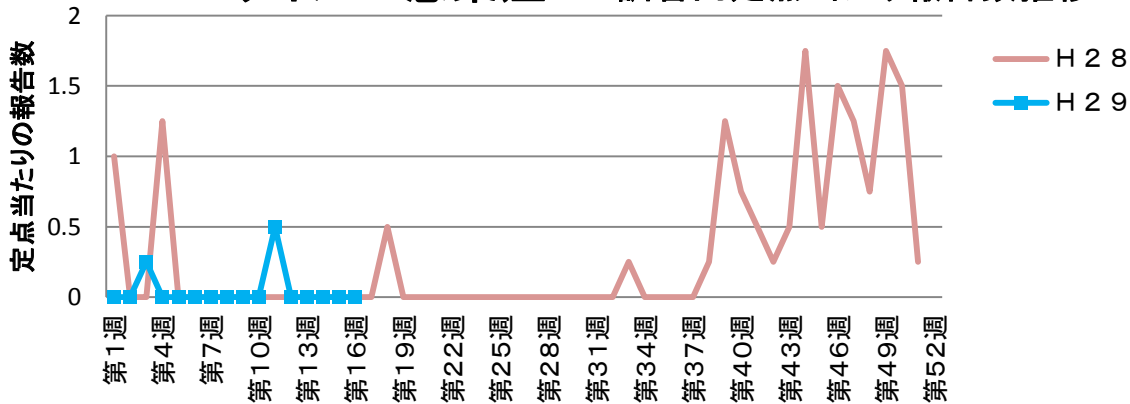
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

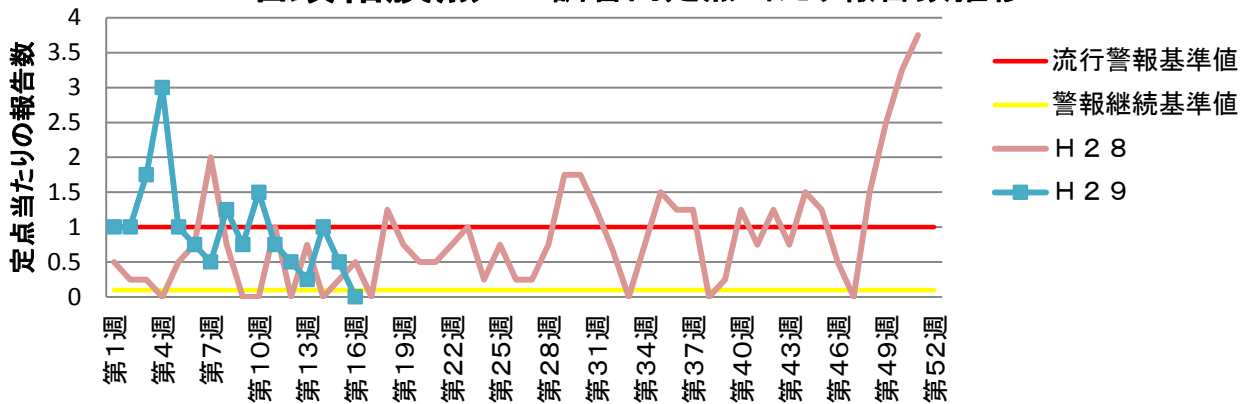
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



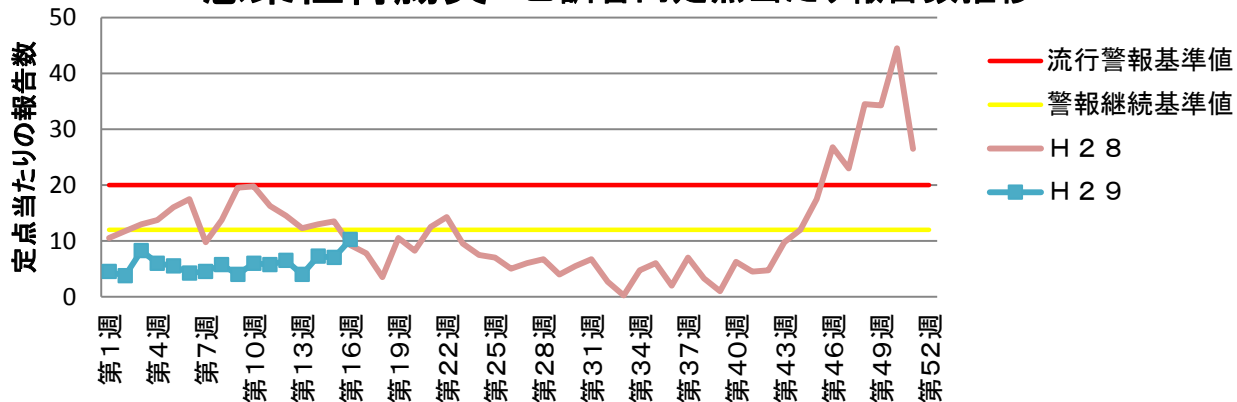
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



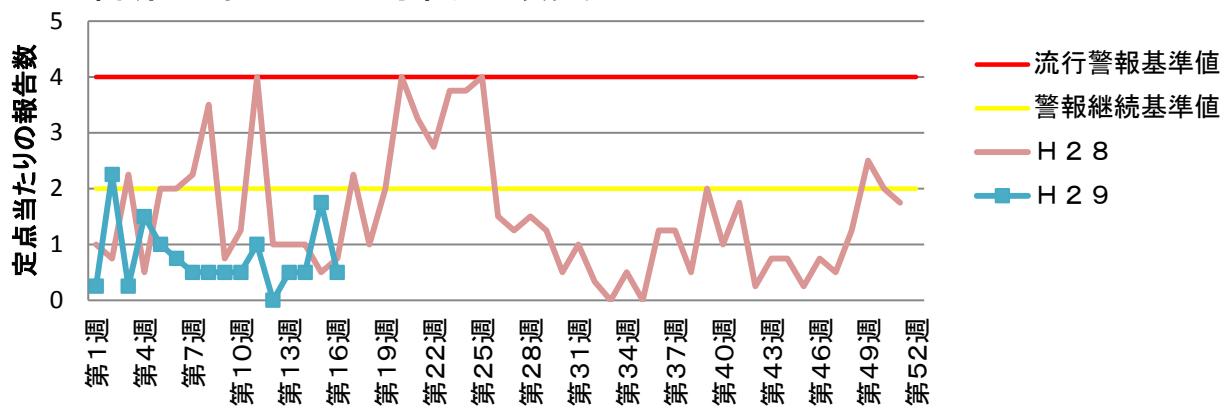
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



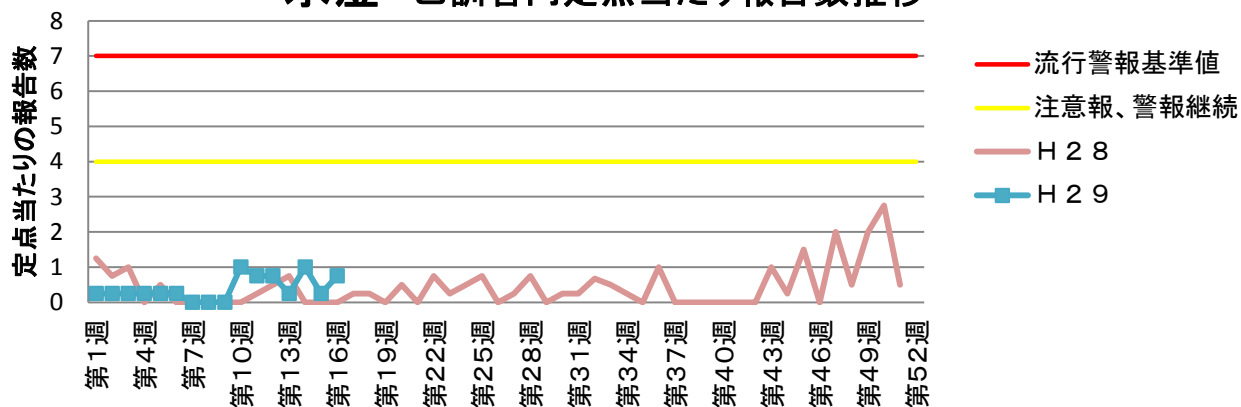
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



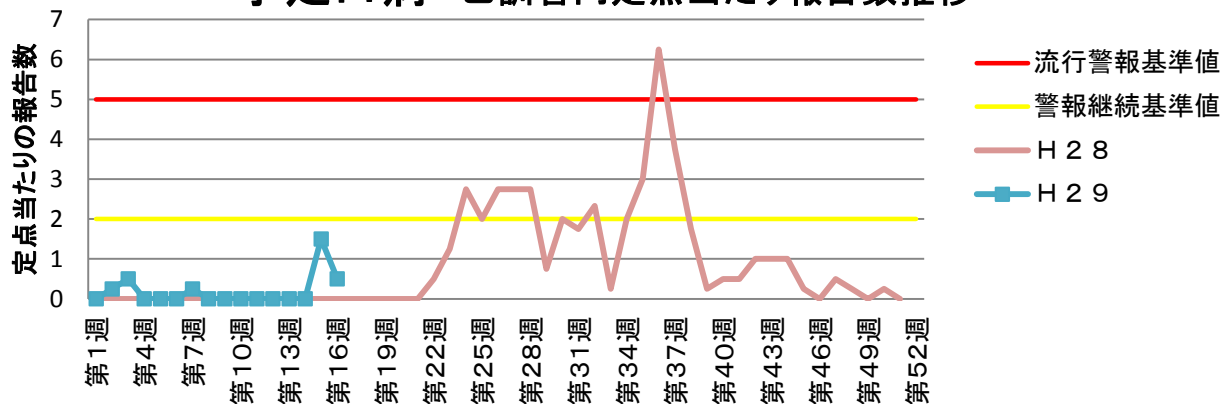
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



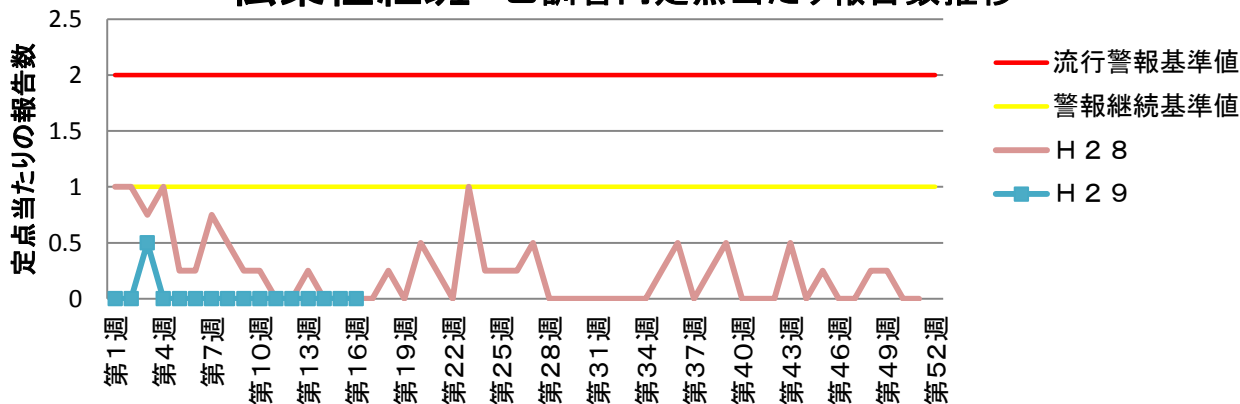
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



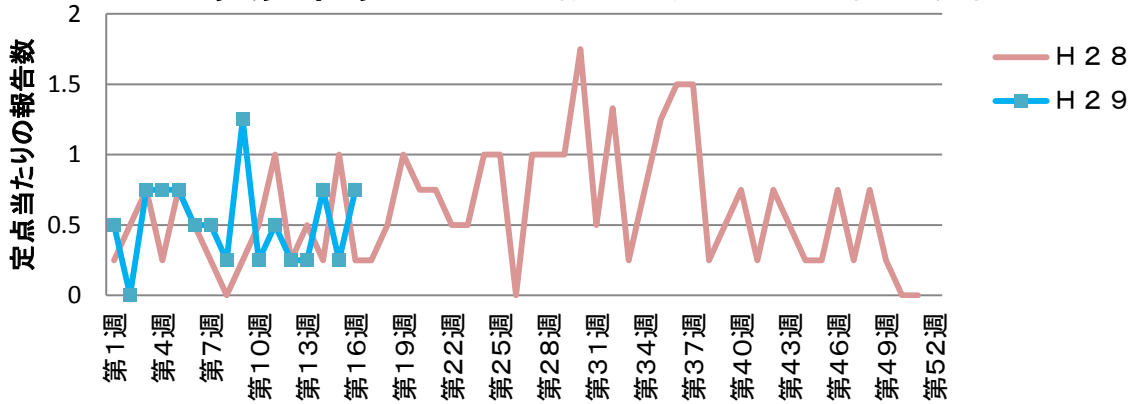
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



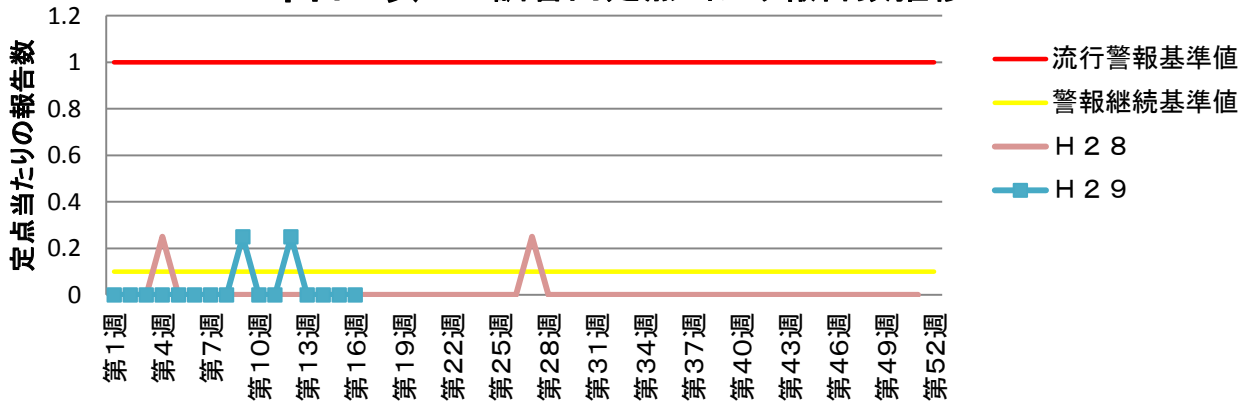
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



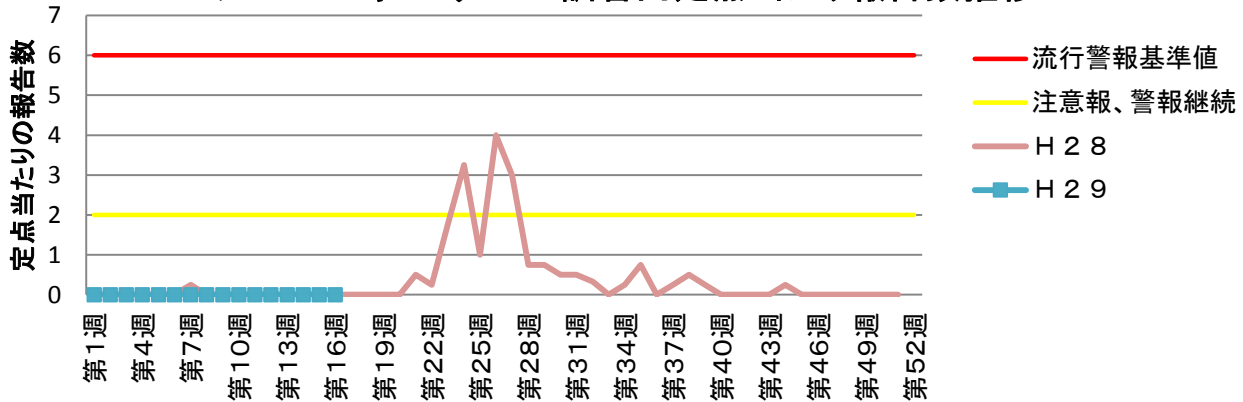
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

